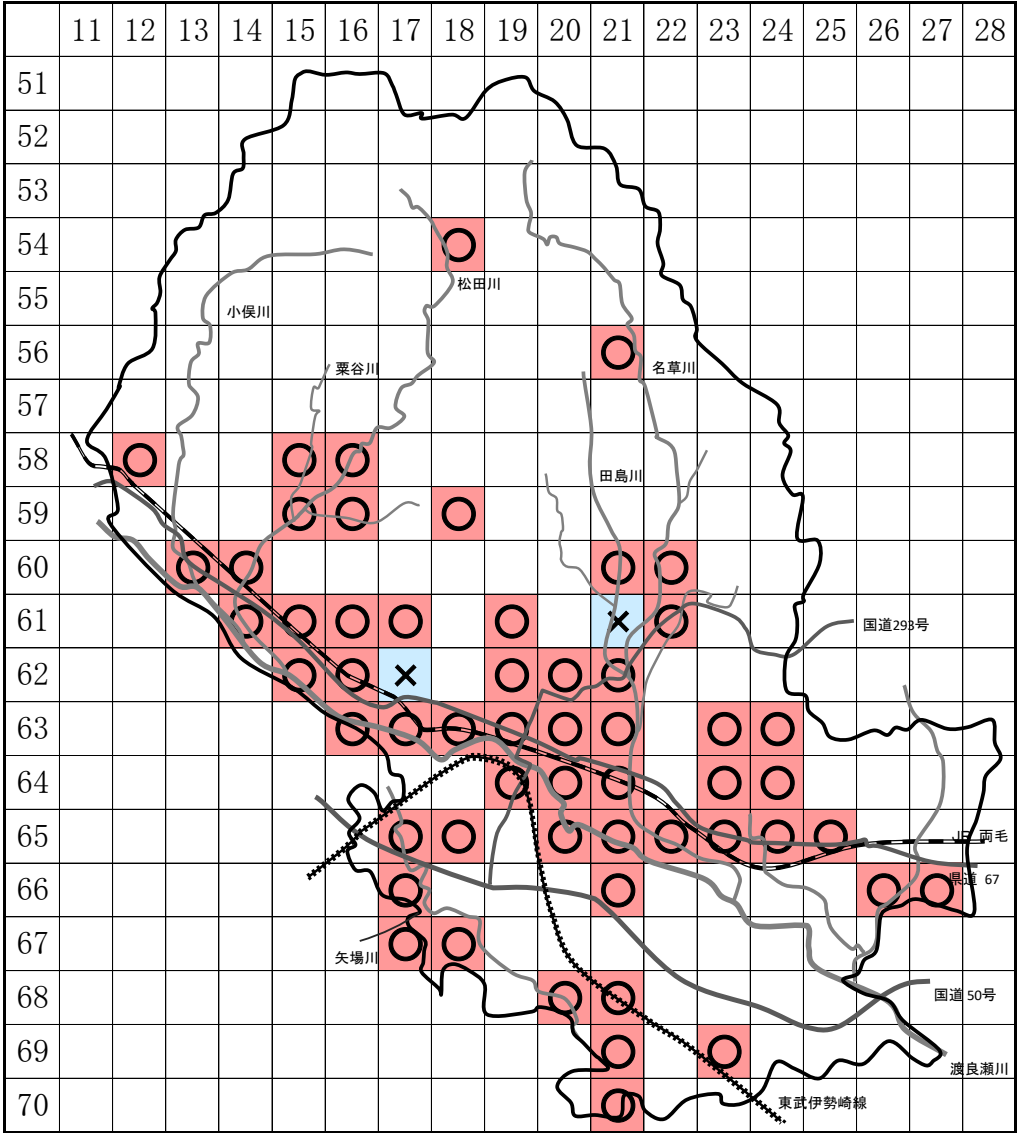


<h1 style="margin: 0;">外来タンポポ</h1> <p style="margin: 0;">セイヨウタンポポ アカミタンポポ</p>	確認数： 55 メッシュ
	報告数： 57 メッシュ
	2020年度 55/57 2019年度 61/68

※過年度 確認数/報告数



はな いろが きいろで 総苞  
 花の色が黄色で総苞  
 片がそりかえるもの。  
 どちらもヨーロッパ原  
 産で明治時代に日本に  
 入ってきた。アカミタ  
 ンポポは名の通り果実  
 が赤味を帯びる種類だ  
 が、セイヨウタンポポ  
 と区別しにくいので、  
 まとめて外来タンポポ  
 とする。花は主に春に  
 咲くが、夏や秋にも咲  
 いているものがある。

かんさつてき  
 観察適期  
 (花) 4月～5月

- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

## 調査結果

調査したメッシュ数と確認できたメッシュ数が前年度の調査結果と同数とは、偶然とはいえ、  
 面白い結果ですね。確認メッシュの内容も前年度と大きな違いはなく、生育環境が安定している  
 からと思います。総苞片が下向きに反り返っているのを確認しながら調査するのも遊び心があ  
 り、楽しい調査になると思います。

# 在来タンポポ

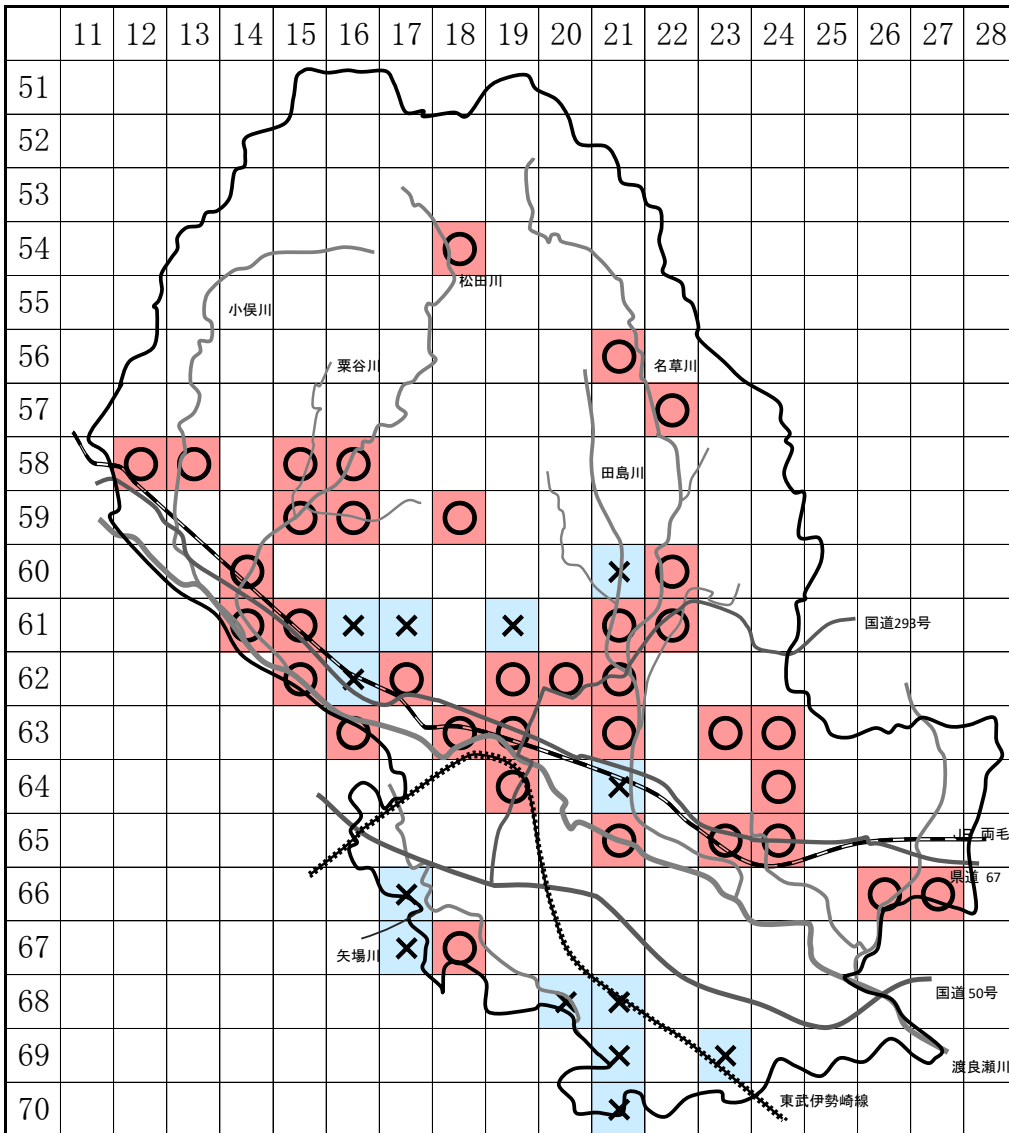
ニホンタンポポ(エゾタンポポ)  
カントウタンポポ

確認数： 35 メッシュ

報告数： 48 メッシュ

2020年度 37/47 2019年度 41/61

※過年度 確認数/報告数



花が黄色で総苞片が

そりかえらないもの。  
従来、足利付近のものはエゾタンポポとカントウタンポポの2種類と考えられていたが、最近の研究でニホンタンポポとしてまとめたほうがよい事が分かった。

花の開き方が明るさによって変わるので、くもった目などに注意してみたい。

観察適期

(花) 4月～5月

・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示

・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

## 調査結果

報告数と確認数は前年度と比べ大きな違いは感じられません。  
在来タンポポは昭和30～40年代に市街地から姿が消えるほど外来タンポポに置き換わった時があるようですが、最近少し元に戻ってきたように聞いています。ただし南の一部地域については環境の変化に注意してみてください。在来タンポポの確認数が安定していることは多様性という点からも、外来タンポポとの共生という面からも大切なことと思います。

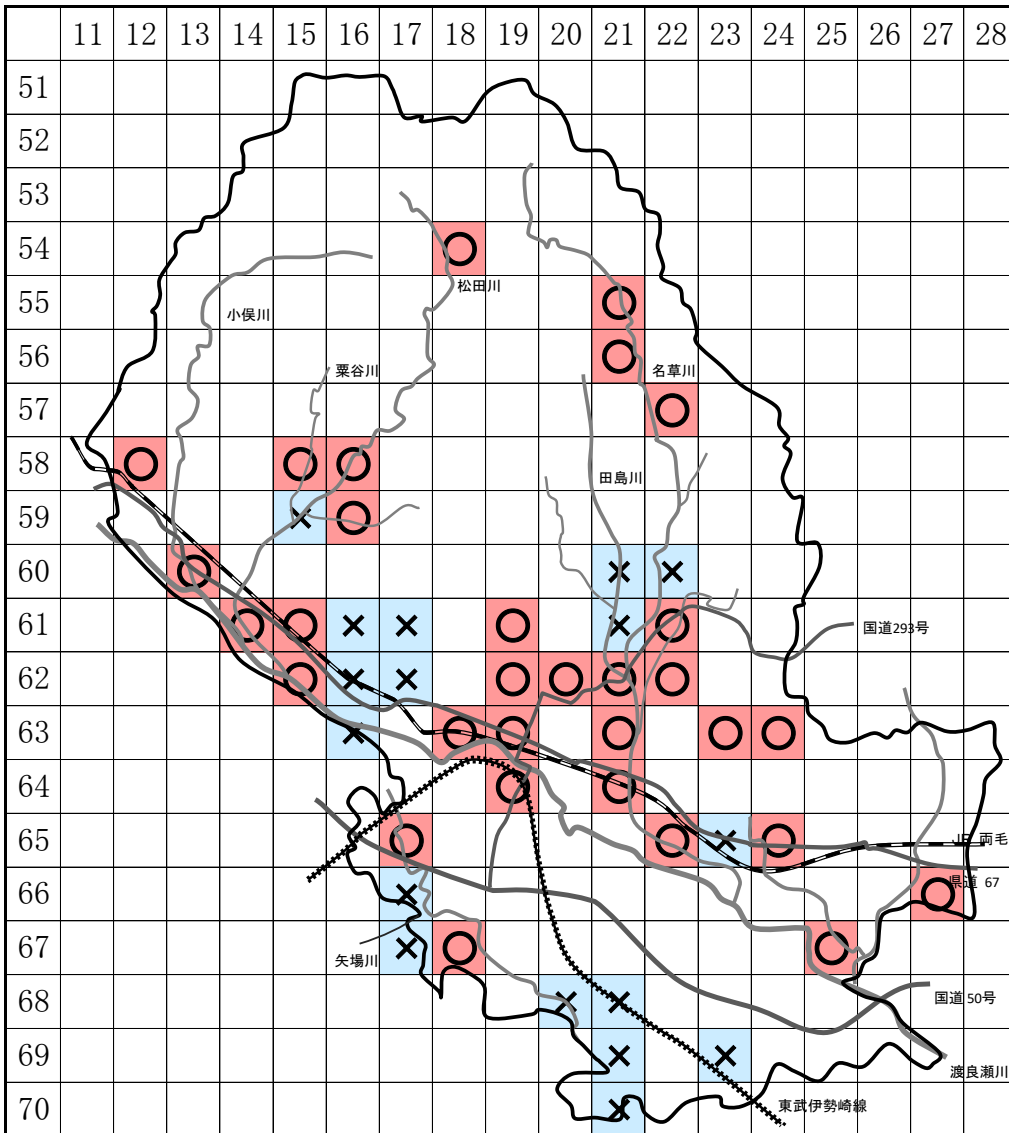
# シロバナタンポポ

確認数： 31 メッシュ

報告数： 48 メッシュ

2020年度 32/42 2019年度 32/56

※過年度 確認数/報告数



花が白色（中心付近がやや黄色味を帯びる）なのはこの一種だけである。

昔から日本にあった種（在来種）であるが、よく目立つので黄花種と区別して調べてみよう。ただし、総苞片がそりかえるので開花時以外では外来タンポポとの区別に注意したい。

観察適期  
(花) 4月～5月

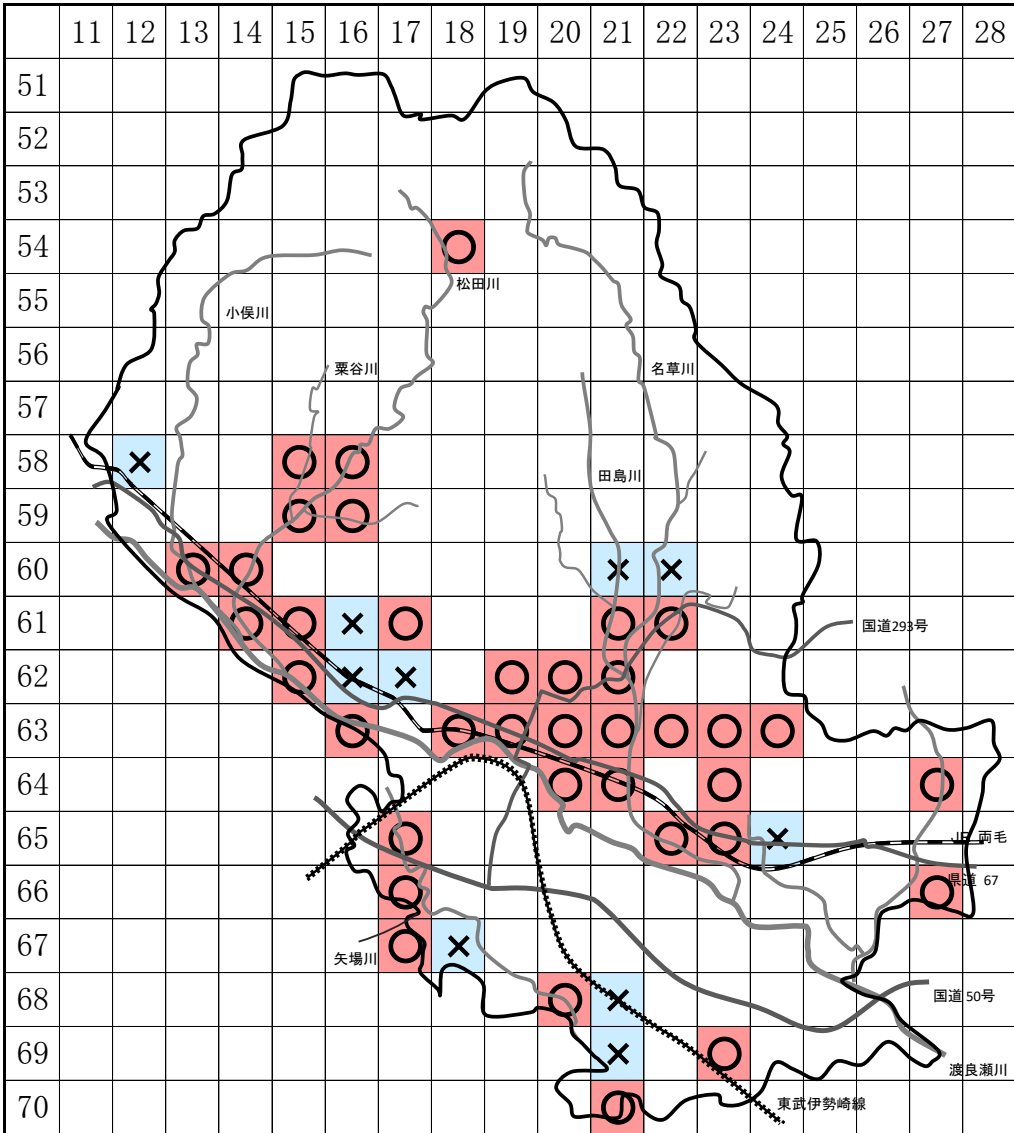
- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

## 調査結果

メッシュ地図で見ますと68、69、70のメッシュでは見つからないようです。また、61、62のメッシュで見つからない箇所があるようです。在来タンポポに比べ花期が長く11月頃まで確認できます。足利市では定着していると思しますので、これからも個体数の維持を大切にしたいと思ひます。

ネジバナ (モジズリ)	確認数： 37 メッシュ
	報告数： 47 メッシュ
	2020年度 38/45    2019年度 33/55

※過年度 確認数/報告数



野の草地、かわらのど  
て しばふ なか は  
える 愛らしい 多年草。  
茎は高さ10~30cmで、  
まっすぐ立ち、上の方  
に「らせん」状に淡紅  
色の5mmほどの花をつ  
ける。名前はこの花の  
つき方からついたもの  
である。

かんきつてきき  
観察適期  
(花) 6月~8月

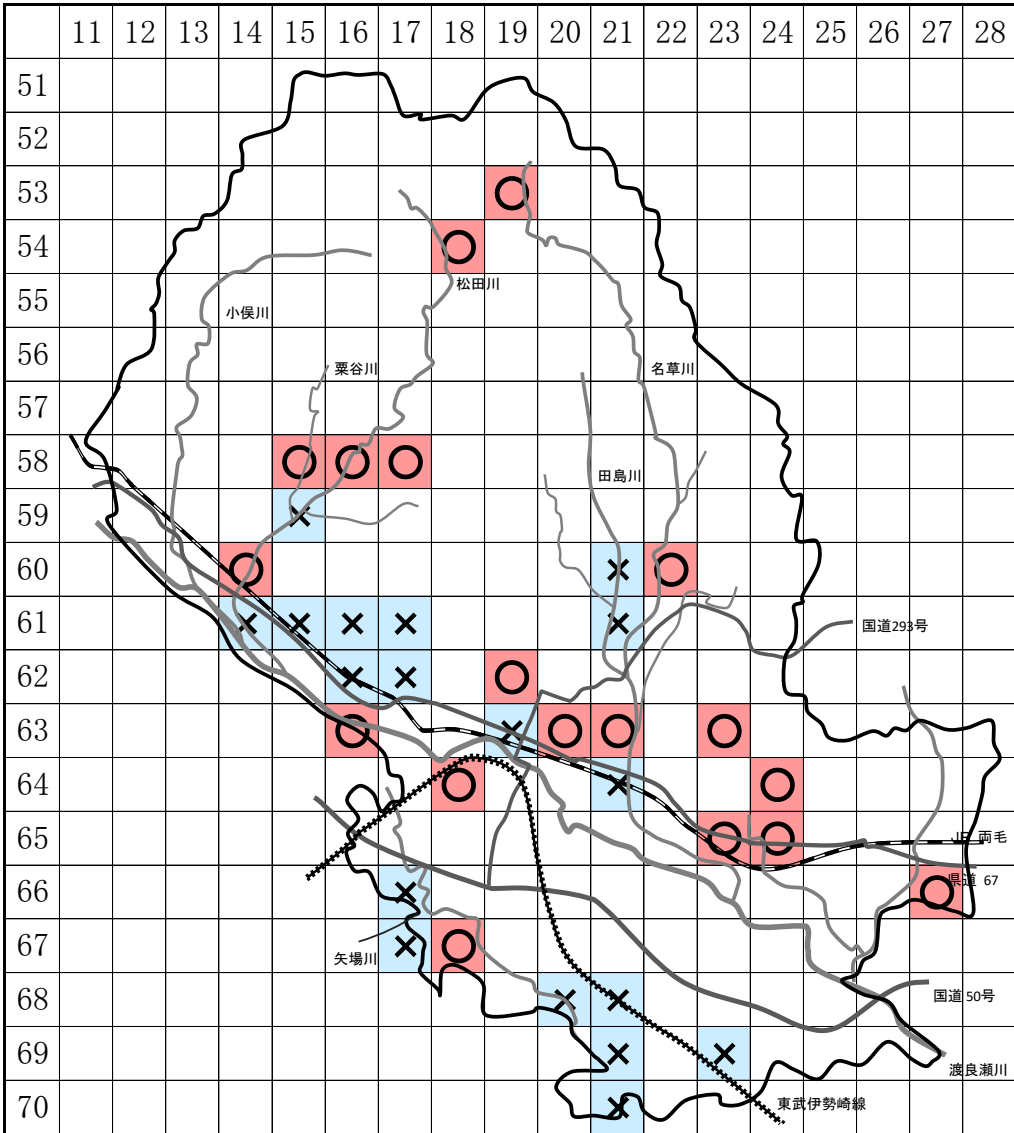
- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

### 調査結果

昨年度と比べ、確認比率はやや同じようですが、メッシュ位置ではやや変化があります。花期以外ではその存在がわかりにくいので、花を自当てに自当たりのよい草地や芝生の上をよく観察すれば見つけやすいでしょう。また場所により開花期にずれがあり見落とす場合もありますので、別の日にもう一度調査するのも出会える方法と思います。

ヤマユリ	確認数： 18 メッシュ
	報告数： 36 メッシュ
	2020年度 21/35 2019年度 26/57

※過年度 確認数/報告数



やま はやし  
山の林のふちなど  
の、主に傾斜した草む  
らに生える多年草。高  
さは1mぐらい。花は白  
く内側に赤い斑点があ  
り、直径20~25cmで、  
にほんの草の中では最  
大。強い香りがあり7  
~8月に咲く。地下に  
鱗茎があり食用にす  
る。

かんさつてき  
観察適期  
(花) 7月~9月

- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

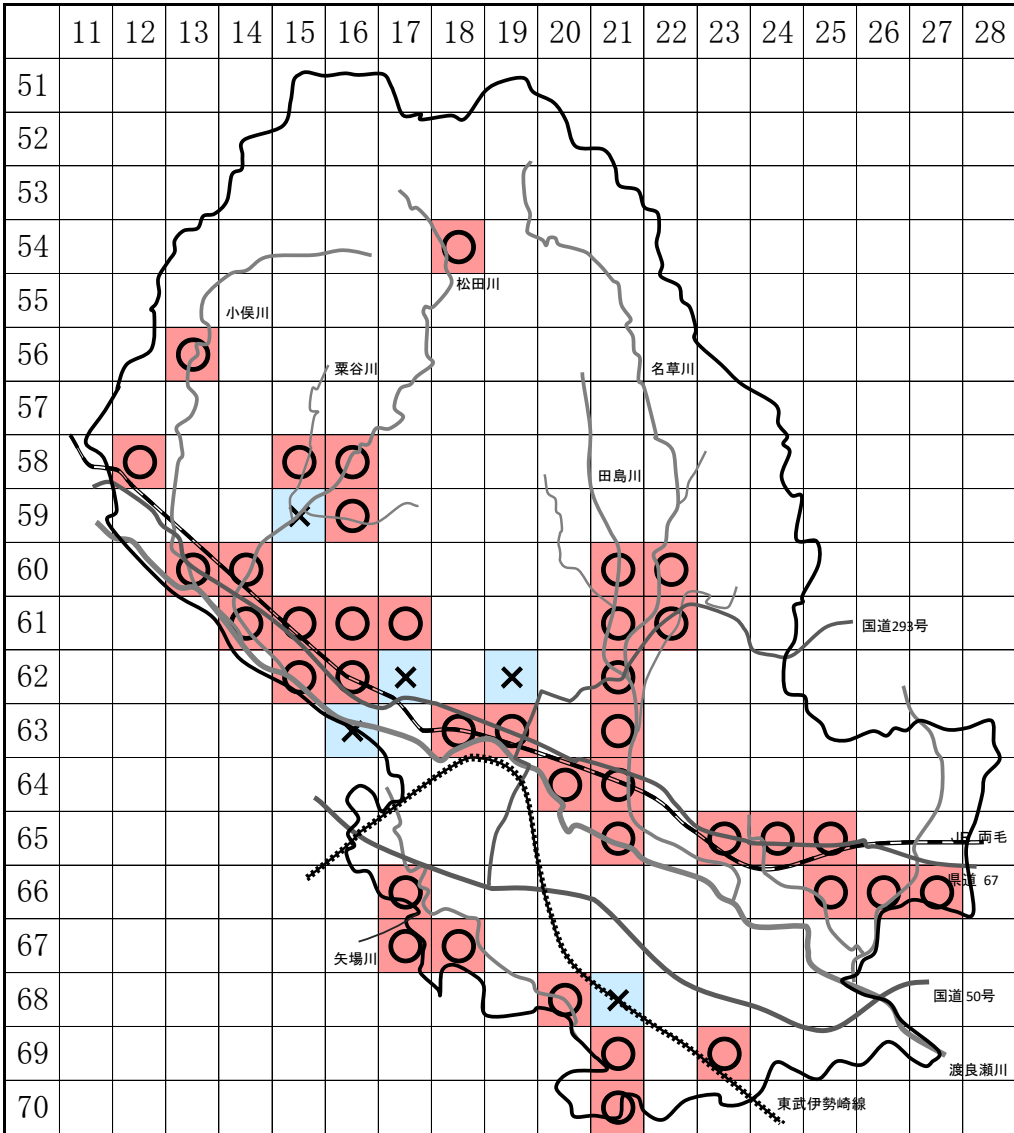
### 調査結果

今年度は前年度と比べ、確認比率は少し落ちました。メッシュ位置で南の端に近い5カ所や、市街地から少し離れた西側地区の6カ所等で見つからなかったようです。名前のおり山地中心の植物ですので、上記のメッシュで見つからなかったのは普通のことであると思います。

ヤマユリは日本の特産種でもあり、北海道や関東以西では自生していない種です。また、人や動物の被害を受けやすいこともあります。大切にしていきたいものです。

ヨシ (アシ)	確認数： 38 メッシュ
	報告数： 43 メッシュ
	2020年度 38/45    2019年度 43/59

※過年度 確認数/報告数



いけぬま、かわぎし、しっち  
池や沼、川岸、湿地  
に生える大型の多年  
は おおがた たねん  
草。そう  
ふと ちかけいをのぼし  
太い地下茎をのぼし  
ぐんせいする。1.5～3mの  
じょうぶ くま  
丈夫な茎は「よしず」  
をつくるのにもちいられ  
る。8～10月に大型の  
がつ おおがた  
スキのような穂をつ  
ける。

かんきつてきき  
観察適期  
ねん かん  
年 間

- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

### 調査結果

ちょうさ  
調査できたメッシュで8～9割の方が確認できたことはとても良い結果だと思ひます。

ヨシはいろいろ役に立つことが多く、様々な生き物に住処を与えたり水質を浄化したりするなど、近年再び  
ちゅうもく しよくぶつ  
注目されている植物です。

レポートのみなさんが、これはヨシであると確認できた特徴はヨシのどの部分からでしたか。また、確認でき  
た日や場所についても記録しておいてください。

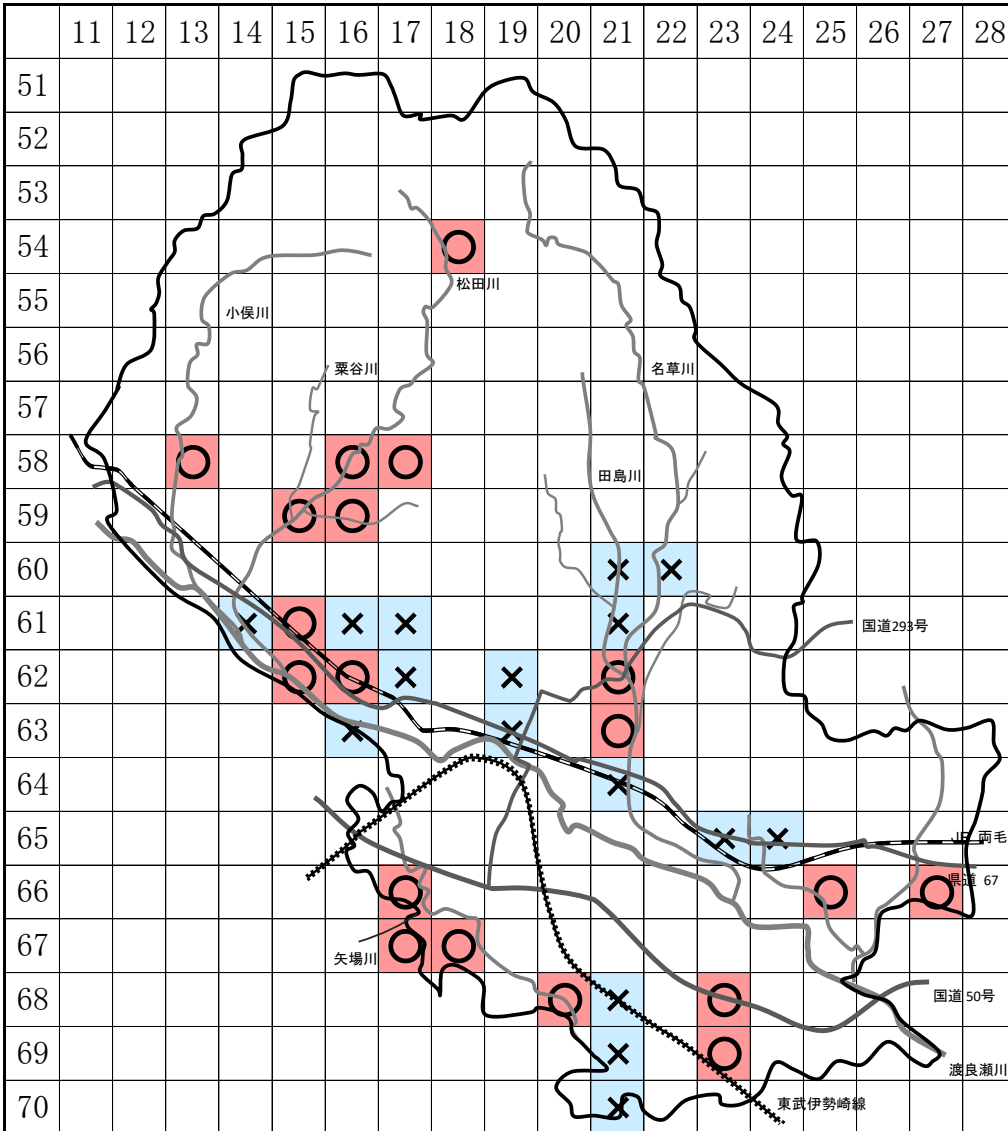
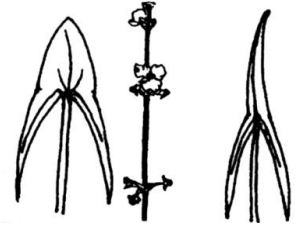
# オモダカとアギナシ

確認数： 19 メッシュ

報告数： 35 メッシュ

2020年度 20/33 2019年度 20/52

※過年度 確認数/報告数



水田や用水路、沼のへりなどに生える。花は夏～秋に咲き、白い花弁が3枚でよく自立つ。葉は矢じり型、アギナシの方が細いが遠くから見ただけでは区別しにくい。どちらも同じような環境に生える水生植物の代表的なものとしてまとめて調査する。

かんさつてきき  
観察適期  
(花) 7月～9月

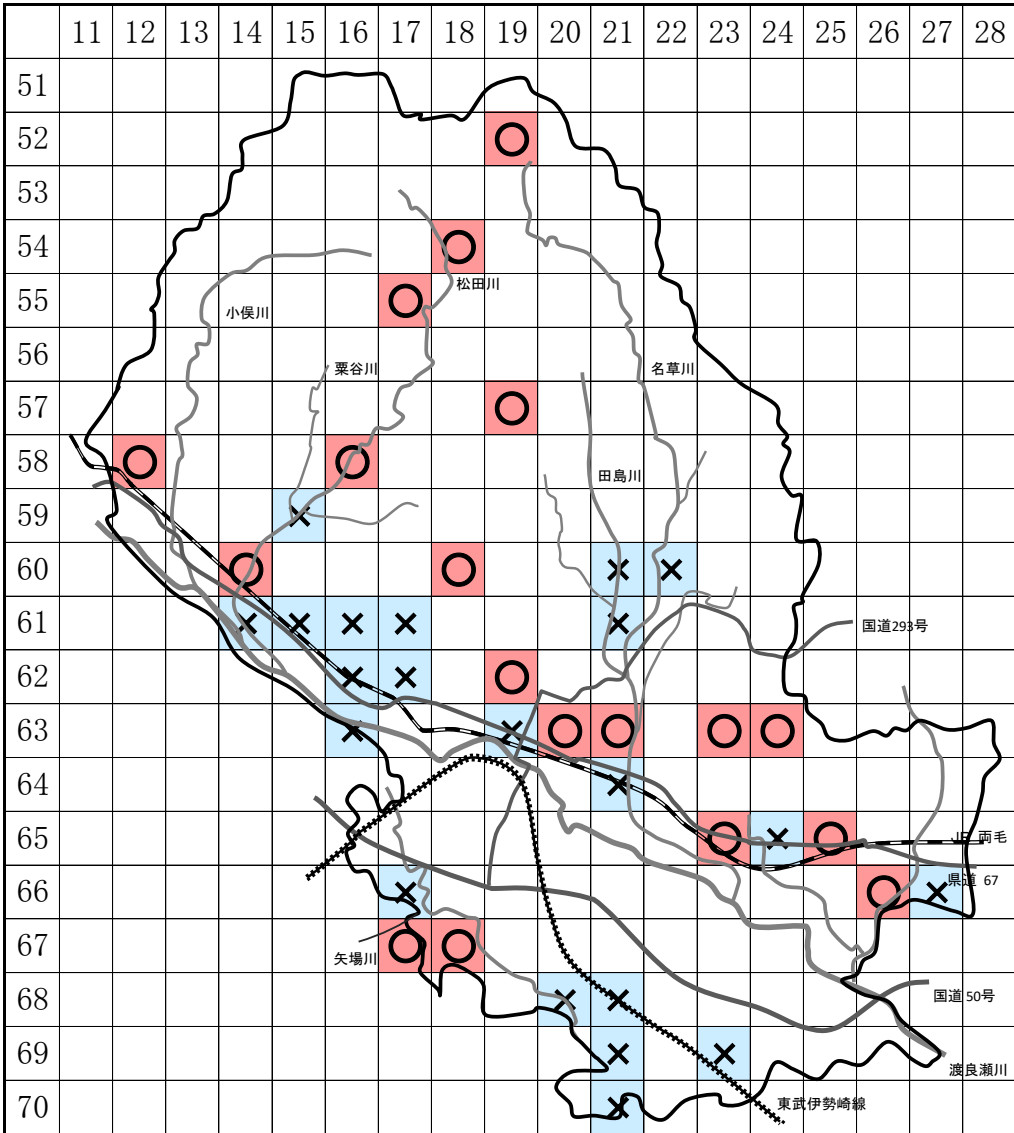
- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

## 調査結果

夏～秋に池沼や水路、水田などで矢じり形の葉をつけた草に出会ったら、それはオモダカかアギナシでしょう。また、7月～10月には花も見られるでしょう。  
 今年の調査では、前年度とほぼ同じくらいの報告・確認数でした。イネが伸びて緑濃い中、オモダカの白い花を見つけると嬉しくなります。朝開き夕方しぼむ一日花の儚さを思うと、白い花弁が愛おしく思えます。これからも水辺での出会いを楽しんでください。

ガ マ ズ ミ	確認数： 18 メッシュ
	報告数： 39 メッシュ
	2020年度 14/28 2019年度 17/53

※過年度 確認数/報告数



やまのほやしの中に  
 は生える高さ2〜3mの落  
 ようていばく葉低木。5〜6月ごろ、  
 えださきしろはなあつ  
 枝先に白い花が集まっ  
 て咲く。10月には、  
 5mmほどの卵形の実が  
 あか、のちにくるじやく  
 赤く、後に黒っぽく熟  
 し、甘酸っぱくて食べ  
 られる。

かんさつてきき  
**観察適期**  
 (花)5月 (実)10月

- ・生き物が見つかったメッシュ ..... ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ ..... × 印で表示

### 調査結果

ぜんねんどよりかくにんすう・ほうこくすうがおおくなりました。メッシュ内容で見ますと、みなみほうめんの一部や、市街地から少し離れた西側地区で確認できなかつたようです。ガマズミは山地か、その林縁に自生するため平地では見つけにくいと思います。ただ調査では花の時期と実の時期の2つがありますので、2度楽しみながら調査してください。